

令和7年度

# 東京都教職員研修センター紀要

第25号

令和8年3月

## はじめに

東京都教育委員会は、東京の目指す教育として「誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育」を掲げ、その実現を図るために様々な施策を推進しています。

その一つである不登校児童・生徒への支援の充実については、小学校、中学校及び高等学校における校内別室指導員の配置や、中学校における「チャレンジクラス」の設置を進めるなど、取組を進めています。

また、本年度は、デジタルとリアルを最適に組み合わせ、多様な学び方を実現することを目指す「次世代の学びの基盤プロジェクト」を、都立高校から展開しています。

こうした施策を踏まえ、東京都教職員研修センターは、令和7年度に以下の研究及び調査を行いました。

第1は、「不登校児童・生徒への支援に関する研究（2年次）」です。本研究は2年間で計画し、本年度が最終年度です。1年次は、都立高校チャレンジスクールの教員及び生徒への調査から「不登校が生じない魅力ある学校の6要素」を生成しました。2年次である本年度は、研究協力校への伴走型による支援を通じて、「魅力6要素」を活用した授業改善に取り組み、児童・生徒の学級所属感の変容について成果等をまとめました。

第2は、「教育データを利活用した授業改善に関する研究（1年次）」です。本研究は3年間で計画しています。基礎研究として文献調査を行い、授業改善に関するルーブリックを作成し、研究協力校における教育データ利活用の実態を明らかにしました。さらに、それらを基に、2年次以降の研究仮説を生成しました。

第3は、「第16回 東京都公立幼稚園・こども園5歳児の運動能力に関する調査」の報告です。本調査は、昭和55年（1980年）から3年ごとに実施しています。「25m走」「立ち幅跳び」等の5種目について、現在の幼児の運動能力の傾向を明らかにし、各園における指導や環境の工夫・改善に資するようデータをまとめました。

各教育委員会、学校及び園におかれましては、今後の教育活動等の改善・充実に向け、本紀要に掲載した研究の成果及び調査の結果を活用していただければ幸いです。

結びに、関係教育委員会をはじめ、検証授業・調査等に御協力いただいた学校及び園の先生方、多くの御示唆や御助言をいただいた講師の方々に御礼を申し上げます。

令和8年3月

東京都教職員研修センター所長 瀧沢 佳宏

# 目 次

1	不登校児童・生徒への支援に関する研究（2年次）	4
2	教育データを利活用した授業改善に関する研究（1年次）	34
3	令和7年度 第16回東京都公立幼稚園・こども園5歳児の運動能力に関する調査	55
	参考文献・資料等	
	研究に携わった所員・講師・教員研究生・研究協力校	74